

山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



笛吹市立富士見小学校

教諭 成島 勇樹

教員歴7年

山梨県出身

◆学校の先生になった理由

小学校の頃の担任の先生が、いろいろな面でサポートをしてくださいました。そんな先生方と関わる中で「先生になりたい」と思うようになりました。大学も教員になるため、教育学部に進学しましたが、一度、学校という組織の中から出て、社会を見てみたいという思いもあり、大学卒業後は警察官になりました。警察官としての勤務は、社会の様々な場面を見ることができ、とてもやりがいがあるものでした。その中で、子どもたちと関わるのが何度かありました。元気で素直な子どもたちの様子を見る中で、教師になりたいという思いが一層強くなり、教師になりました。

◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

子どもたちの「できた！」という思いと一緒に感じることができることです。子どもたちは、誰もが「わかりたい」「できるようになりたい」という思いを持っています。そんな思いの手助けを教師はすることができます。一生懸命頑張っている姿を見ると、こちらもやる気をもらえます。

◆先生になって「楽しかったこと」や「感動したこと」

教師になってから、高学年を中心に担任をさせていただいています。6年生が卒業する日、最後の学活で6年間の思いを一人ずつ話してもらいました。そんな中で、仲間や先生、学校に感謝する姿、未来に向かって希望に胸をふくらませる姿を見て、教師としてこの場に立ち会うことができよかったな、自分がやってきたことは間違っていなかったなと感じることができました。

◆学校の先生として心がけていること

子どもたちの話をしっかり聞くことを心がけています。子どもたちの行動の裏には、必ず理由や思いがあります。その理由や思いを受け止めた上で、子どもたちと関わっていきたいと思っています。また、子どもたちが楽しいと思えるような授業をつくるようにしています。自分自身が授業をしていてつまらない授業は、子どもたちにとってもおもしろいものではありません。子どもたちの目線に立って、楽しいと感じられる授業になるように工夫をしています。



◆初任者の頃との違い

先を見通して仕事をするできるようになりました。初任者の頃は目の前の仕事に手いっぱいでしたが、何年か経験をしていくうちに、何をいつやればよいのかということがわかり、効率的に仕事をするできるようになりました。そこから生まれた時間で子どもと関わる時間を確保したり、より深い教材研究ができるようになったりしました。

◆勤務校が変わって

勤務校が変わると、学校の規模や体制、使用する機器など多くのことが変わることがあります。特に私は市をまたいでの異動だったため、市によって違うことが多くありました。しかし、子どもたちのために仕事をすることは変わらないので、すぐに慣れることができました。また、それぞれの勤務先で新たに学ぶことも多くあります。今まで培ってきたものと、新たに学ぶことを組み合わせることで、新たな考えが生まれることもあります。

◆退勤後や休日の過ごし方

退勤後は、子供と過ごす時間を大切にしています。また、読書をする時間も大切にしています。読書は自分自身の知見を広めることができ、子どもたちにも還元することができるので、そういった時間を大切にしています。休日は、子どもたちと公園や買い物に行って家族との時間を大切にしています。



◆山梨県のよさ

山梨県は美しい自然に囲まれています。授業や教育活動に自然との触れ合いを取り入れることができ、子どもたちに豊かな学びを提供することができます。また、山梨県は少人数学級を先進的に進めています。児童生徒一人一人に寄り添った指導をすることができ、子どもたちと深くかかわりながら教育活動を進めることができます。

◆成島先生の1日

出勤	8：00頃に出勤して、その日の日程を再確認します。
朝の会	時間を意識させながら朝の会をします。健康観察の時は、一人ずつ顔を見ながら名前を呼び、子どもたちの様子を確認します。
授業	授業のゴールを明確化し、構造的に授業をつくっていきます。子どもたちが楽しいと思えるような授業を意識してつくっています。
給食 昼休み	子どもたちとのコミュニケーションが取れるようにしています。なるべく多くの子どもたちと関わるようにしています。
授業	授業では、全体発表だけでなく、ペアコミやグループコミを取り入れ、多くの人と意見を交流し、深い学びになるようにしています。
掃除	それぞれの掃除場所を回りながら、清掃指導を行います。掃除の意義や仕方などを、子どもたちの様子を見ながら指導をします。
帰りの会	帰りの会の中で、子どもたち同士で気付いた友達の良いところを発表し合います。発表した方もされた方も、よい気持ちで一日を終えられるようにしています。教師が見ていないところでもたくさんの良いことをしていることに気付きます。
放課後	会議や打ち合わせをし、授業準備をします。学年の先生だけでなく、多くの先生と話をすることで学校全体の様子もつかめたり、授業や子どもたちとのかわり方のアイデアを得られたりすることができます。
退勤	翌日の日程を再確認し退勤します。

◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

山梨の自然に囲まれた環境だからこそ、できる教育活動も多くあると思います。自然や地域人材を活用しながら、活動を仕組んでいくことができます。また、子どもたちと共に様々な経験ができます。そこから学ぶことも多く、教員としても一人の人間としても成長できる生活を送ることができます。山梨県でみなさんが教員として活躍する日々を楽しみにしています。